



わっしょい

まちの話題



2月23日

バレーボールのまちで コーチングキャラバン

青少年の健全育成とバレーボールの楽しさをより知ってもらうため、また、高校生が地域のリーダーとして小中学生を指導できるようにと、バレーボールコーチングキャラバン(フジテレビジョン主催)が西原町民体育館で行われました。元日本代表の三屋裕子さん、井上謙さんが西原高校男女バレーボール部員に指導方法を教え、続いて高校生が小中学生にスパイクやレシーブを指導しました。



町内・県内の小中学生は、全国でも活躍する西原高校生からの指導に緊張しながらも嬉しそうに練習に取り組み、松本颯太くん(西原東小4年)は「スパイクもレシーブもすごい。僕もこんな風にうまくなりたい」と憧れのまなざしを向けていました。

3月6日

あなたの特技や活動をMICEにつなげて魅力発信!

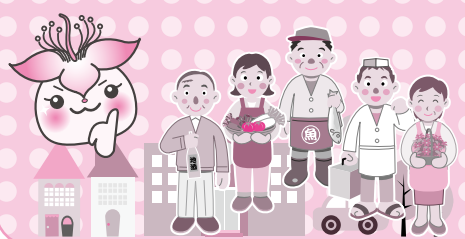


徳田 博之 氏



西原町中央公民館サークル長会 代表
大城 節子 氏

MICEって、建物のことじゃなくて人が集まって交流するすべてのビジネスイベントのことなんだから!



これまで1,000件を超えるMICEの誘致・開催を成功に導いた徳田博之氏(株式会社DMC沖縄代表取締役)を講師に招き、「知らなかったMICEの横顔」をテーマに観光まちづくりセミナー(西原町観光まちづくり協議会主催)が、沖縄観光コンベンションビューローの協力のもと町民交流センターで開催されました。

地域資源を活用した県内、県外のMICE開催の様々な実例が紹介された後、参加者を交えたフリートークでは、西原町の伝統芸能や景観、生涯学習などの地域資源をMICEとどう結び付けていくかたくさんの方の事例やアイデアが発表されました。こども三線サークル「ひやみかち」の講師を務める當間清子さんは、「MICEとは大型MICE施設本体のことだと思っていたが、私たちが日頃行っているサークル活動などの地域資源を生かして人と人を結ぶ観光振興のことだと知って驚いた。来て良かった」と笑顔を見せました。

上間明町長は「町民・企業が持っている特技やサービスを活かして、一丸となって西原町の魅力を発信していきましょう」と呼びかけました。

3月8日

シマナーそば まーさん!



地産地消の大切さを児童生徒にアピールしようと、農業生産法人西原ファームが加工した町産のシマナー(からしな)ペーストを、オキコ(株)の協力を得て麺に練りこんだシマナーそばと、町産キャベツのタマナーチャンプルーが町内小中学校の給食で出されました。色鮮やかな緑で、ほのかにシマナーの風味がある麺は生徒に大人気で、「おいしい!」の声が上がりました。中学3年生は卒業祝いの特製カップケーキを食べながら、仲間との最後の給食をかみしめていました。

地産地消の大切さを児童生徒にアピールしようと、農業生産法人西原ファームが加工した町産のシマナー(からしな)ペーストを、オキコ(株)の協力を得て麺に練りこんだシマナーそばと、町産キャベツのタマナーチャンプルーが町内小中学校の給食で出されました。色鮮やかな緑で、ほのかにシマナーの風味がある麺は生徒に大人気で、「おいしい!」の声が上がりました。中学3年生は卒業祝いの特製カップケーキを食べながら、仲間との最後の給食をかみしめていました。

2月23日

合同防災訓練で意識向上



幸地ハイツ自治会とデイサービス「孫の手」との合同防災訓練が実施され、住民とデイサービス利用者55名が参加しました。今回の訓練は、巨大地震が発生した直後火災も発生したとの想定で、実動訓練が行われました。

避難誘導訓練では、地域住民が協力し、デイサービス利用者を安全な場所まで誘導するなど「共助(地域住民が助け合う)」の大切さを学びました。消火訓練では、「火事だ!」と大きな声を出しながら的を目掛けて消火訓練に挑戦し、その後参加者からは、古くなった消火器の処理方法や耐用年数について質問がありました。

実動訓練後には、東部消防組合消防員より地震時の応急対応として「身を守る行動」と「安全対策」についての説明があり、特に、路上駐車がいざというときの消防車両の通行の妨げになるため、日頃から意識することが大事だとお話がありました。



3月1日

つなが! 防火のタスキ



住民の火災予防意識の高揚を目的として、東部消防組合による第28回防火アピール駅伝が管内(西原町、与那原町、南風原町)で行われ、火災警報器の設置など火災予防の大切さをアピールしました。全ての住宅で火災警報器の設置が義務付けられていますので、今一度ご自宅をご確認ください。

消防団の呉屋博之団長は「火の用心の大切さを訴え、安心安全なまちづくりにつなげましょう」と激励しました。

2月8日

家族に伝える「私の心」



講師
慶田城 裕 氏



慶田城裕氏(沖縄県金融広報アドバイザー)を講師とした『エンディングノートについて』の講座が西原町立図書館で開催されました。慶田城氏は、「元気なうちに自分の思いをまとめ整理することは、相続問題で家族が争わないために、また相続時のコストを減らし、財産をより多く残すために大切です。自分のこれまでの人生や財産の整理、家族への思いを残すためにエンディングノートを活用してほしいです」と伝えました。参加者からは「この講座をきっかけに、家族への感謝の気持ちを書こうと思いました」や「自分の生き方、終活、家族への思いを伝えることの大切さを実感しました」などの感想がありました。また、講座後には終活に関する本を借りる方が多く見られました。

2月20日

産地直送! 新鮮野菜が大集合



農水産物・流通・加工・観光拠点施設のオープンに向けた取り組みとして、新鮮な西原町産の野菜を集めた農産物軽トラ市が町役場駐車場で開催されました。販売にはJAおきなわ西原支店青壮年部が協力し、パプリカやリーフレタス、トマトにカリフローレなど色鮮やかな野菜が並びました。ビーツを使ったスムージーの試飲もあり、「これはどうやったらおいしく食べられるの?」など町内生産者と直接会話をしながら買い物をする方が多く見られました。次回の農産物軽トラ市の開催は4月17日14時からです。ぜひお越しください。

